

○第115回プリオン専門調査会

日時：平成31年4月19日（金）10：00～11：15

場所：食品安全委員会 大会議室

議事概要：

1. スペインから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓に係る食品健康影響評価について

- ・厚生労働省から諮問内容及びスペインにおけるBSE対策の経緯等について説明があり、その後、質疑応答が行われた。
- ・山本委員から、第736回食品安全委員会で食品安全委員会委員長から提案された効率的な評価の進め方について説明があり、その後、質疑応答が行われ、方針について専門委員の同意が得られた。
- ・スペインの評価書（案）について、事務局から説明があり、その後、質疑応答が行われた。
- ・審議の結果、スペインに係る輸入条件に関する以下のリスクの差については、いずれも「非常に小さく、人への健康影響は無視できる。」と評価された。

（1）牛の肉及び内臓について

① 月齢制限

「輸入禁止」の場合と輸入月齢制限の規制閾値が「30か月齢」の場合

② SRMの範囲

「輸入禁止」の場合とSRMの範囲が「全月齢の扁桃及び回腸（盲腸との接続部分から2メートルの部分に限る。）並びに30か月齢超の頭部（舌、頬肉、皮及び扁桃を除く。）、脊髄及び脊柱」の場合

（2）めん羊及び山羊の肉及び内臓について

「輸入禁止」から「SRMの範囲を、12か月齢超の頭部（扁桃を含み、舌、頬肉及び皮を除く。）及び脊髄並びに全月齢の脾臓及び回腸とし、SRMを除去したものを輸入」とした場合

- ・評価書（案）の一部修正については座長一任とされ、修正後、食品安全委員会に報告することになった。

2. その他

- ・2019年度食品安全委員会の運営等について、事務局から説明があった。

以上